

想 出

— 感 謝 と 感 激 —

ガバナー 種 田 憲 次

1979年9月に、伊藤P.G.より全く思いもかけておらなかった地区ガバナー候補のお話があった時は、気も動転する思いでした。大阪住吉R.C.の歴代会長にご相談したところ、大変名誉なことであり、一つの運命でもあるのだからお受けしてはどうかということでした。

そして伊藤P.G.より地区内86R.C.の5,500名の会員数は多過ぎるので、1981～'82年のガバナー就任のときには多分地区分割も出来てクラブ数も少なく、それに一番大変な地区大会に就いては第268地区と連合で、神戸のポートアイランドで行うようになると思うので負担は軽くなるであろうとのお話でした。

然し、ロータリー歴11年、地区委員の経験も全く無い者が果して地区ガバナーという大任を遂行することが出来るかと、不安の気持で一杯でした。

12月にガバナー・ノミニニーとして宣言され、1980年4月の池田市での地区大会でご指名を戴き、その栄誉に感激し身の引き締る思いでした。そしてそれから1年3ヶ月の間、一生懸命勉強して地区内クラブの良き相談相手であるガバナーになるように、最善の努力をする覚悟であることを地区大会で述べました。



地区のいろいろの会合に出席し、1981年5月のボカ・ラトーン5日間の国際協議会の研修を了え、サンパウロの国際大会でエレクトされ、昨1981年7月よりガバナーの任期が始まりました。この間、先輩P.G.の暖いご指導で優秀な地区組織の編成が出来、大阪住吉R.C.全員のご支援とご協力で理想的なガバナー事務所も準備出来、良いスタートが出来たと感謝しております。

公式訪問は、年度の早い時期に全クラブを訪問するように、しかも急いで済ませてはならないと要望されております。出来るだけこの要望に沿って行おうと、例会場の同じクラブにお願いして、例会日を変更し2クラブ合同の例会を12回行いました。然し、午前中

に一方のクラブで、午後には他方のクラブで会長幹事との懇談を1時間、クラブ協議会を2時間行うという方法で24 R.C.を12日で済ませ、63 R.C.を単独で行って、新しい5 R.C.を除き、87 R.C.の公式訪問を終了したのは歳の瀬も迫る12月25日でした。各クラブとも、大層ご協力を戴き資料等も早目に準備され、公式訪問を行い易くして戴いたことに感謝しております。

何と云いまして、最も大変だったのは地区分割でした。クラブ数が多いということはガバナーにとっては非常な重荷ですが、各クラブにとっては別に直接不都合なことは見当らず、又会員数が多いと地区として資金の点では極めて有利です。したがって分割する場合、クラブ数・会員数がほぼ同数になるようにという要求は当然であり、又歴史的、地域的に結びつきが強い大阪市と河内や泉州を分離するのは忍びないことであります。

そうかと云って、行政上一つである大阪市を二つに分けることは尚一層無理であることも理解出来ます。その上1981年10月のR.I.理事会の審査を逸すると、分割は更に1年延期になるというので、困難を押して申請を強行しました。

大層ご不満だったと思いますが、終



連合年次大会 年間出席優秀クラブ表彰

局的にはご理解が戴け、決論が出ると前向きに分割を考えて行かれるというロータリアンの態度には頭の下がる思いでした。

その外、I.G.F.・連合地区大会・メルボルンの太平洋地域大会・ソウルの日韓親善会議・ダラスの国際大会・最後に別々に行われた第266地区協議会と第264地区協議会……思い出は尽きません。

R.A.C.・I.A.C.・R.Y.L.A.の青少年活動のこと、「ロータリーを通じて世界理解と平和」を実践したW.C.S.・青少年交換・国際交流と皆さん本当によく努めて下さいました。米山奨学会・ロータリー財団への寄付も素晴らしいものでした。奨学生の選考、派遣、それにお世話も心が行き届き、G.S.Eも成果を挙げて戴きました。書き切れぬ程のご支援とご協力による成果です。

何か私1人だけが終生忘れることの出来ない貴重な体験をさせて戴いて感激に浸っているような気がします。随分失敗や失礼なこともしておと思いますが、寛容のお気持ちでお許し戴き、大過なく此の一年間を過し、ガバナーの大任を果させて戴いたことに心からお礼申し上げて退任のご挨拶と致させて戴きます。

本当に有難うございました。



公式訪問の歓迎 和歌山北R.C.